

わたしたちの活動

過去の活動（2008・2009年）



女性の健康

2009年11月19・20日 エイボンピンクリボンサポート表彰レセプション&ワークショップへ参加
主催：エイボン・プロダクツ株式会社

NPO未来は「エイボンピンクリボンサポート2009」の助成金を授与されました。これは、2004年から「プレストケア・ピンクリボンキャンペーンin広島」の事務局を担当し、広島県内にピンクリボン活動のネットワークを構築した団体であることが評価され、2008年に実施したアンケート調査により、受診困難地域への巡回支援、受診料支援などを通じての直接的な支援が、乳がん検診受診率UPに繋がること、また新たな官民協働のモデルになると期待されたものです。東京都港区六本木において、各界著名人や全国から集まった約150人の人たちが見守るなか、華やかに表彰レセプションが行われました。



エイボン女性年度賞は、自分が選んだ道を信じ、常に発展・挑戦し続け、功績をあげている女性たちに贈られるものです。表彰式の後には、隣のホールに場所を移して懇親パーティーが行われました。



2009年度受賞者3名のうちのお一人、三浦道子さん（広島大学大学院教授、広島大学HiSIM研究センター長／左写真右側）は、指導者として研究チームを牽引し、開発した回路設計用トランジスタ・モデルが半導体分野で日本初の国際標準を取得という快挙を成し遂げられました。

表彰式翌日は有楽町マリオン11階において、「島根がん対策募金 基金調達成功の鍵」と「アドボカシーと資金調達」と題しての講演会と、「資金調達のプロセス」、「資金調達プランづくり」のワークショップがありました。

このたびのエイボンピンクリボンサポート助成を受ける14団体を対象に行われたワークショップでは、がんに関わる活動を行うグループにとって資金調達は大きな課題とあって、皆さん熱心に参加されていました。またクロージングセレモニーでは、エイボン・プロダクツ株式会社社長テレンス・ムアヘッドさんが、参加団体それぞれに、助成金の目録を手渡されました。

エイボンピンクリボンサポートは、2008年に寄せられた寄付金を活用し、全国各地で乳がん検診受診率の向上に資する活動を積極的に行っている個人、グループを支援するものです。NPO未来でも、今後の活動をいっそう加速させることができます。乳がん検診受診率50%早期達成を目指して、県内への活動展開を進めます！

2009年7～9月 女性の健康応援講座 全4回（NPO未来協力事業）

主催：WEプラザ（広島市女性教育センター）

場所：同上（広島市中区大手町）

NPO未来協力事業による40歳前後の女性のための健康講座（全3回）を、中区大手町の女性教育センター「WEプラザ」で開催しました。

① テーマ「産婦人科医から見た女性の健康～ホルモンの働きを知ろう～」

講師：久松和寛さん（医療法人準和会ひさまつ産婦人科医院院長）

② テーマ「女性のからだ&女性の自立～わたしたちの体を知ろう～」

講師：河野美代子さん（河野産婦人科クリニック院長）

③ テーマ「女性のからだ～更年期を知ろう～」

講師：中原恭子さん（女性クリニックラポール院長）

2009年2月18日 健康づくり介護予防教室「己斐教室」

場所：広島県看護協会 己斐センター（広島市西区）

広島市西区の広島県看護協会己斐センターにおいて、当協会主催の健康講座があり、ピンクリボンキャンペーンin広島実行委員会の事務局を務める、当法人理事がピンクリボン活動の紹介や乳がん早期発見の大切さについて話しました。また、会場の皆さん方に、乳がん自己検診法をレクチャーしたほか、「月に一度は自己検診を 年に一度はマンモグラフィ検診を」と呼びかけました。

2008年11月8日 マンモグラフィ検診キャラバン in 廿日市市へ協力

主催：広島県

場所：フジグランナタリー（廿日市市阿品）

広島県主催、財団法人広島県健康福祉センター受託の「マンモグラフィ検診キャラバンin廿日市市」が、廿日市市阿品のフジグランナタリーで開催され、NPO未来の会員9名が応援に行きました。50名の検診枠（検診料@1,500円）で30歳代の女性を対象となっていた今回のキャラバンは、参加希望者が67名まで膨らんだため、急遽全員を対象としましたが、その後の申込者につきましては、残念ながらお断りしなければならないという大盛況ぶりでした。

順番待ちの方々では7～8割が小さなお子さん連れでしたので、同年6月に広島市民球場で行われた「ピンクリボンdeカーブ（ピンクリボンキャンペーンin広島実行委員会主催）」で使用したピンク色のカーブオリジナルポスターを全員に差し上げました。

2008年11月8日 第18回広島がんセミナー・

第2回三大学コンソーシアム県民公開講座（NPO未来後援事業）

主催：三大学コンソーシアム「がんプロフェッショナル養成プラン」（鳥取大学、島根大学、広島大学）

財団法人広島がんセミナー

場所：国際会議場 ヒマワリ（広島市中区中島町）

2007年4月、がん対策基本法が施行され、我が国のがん医療改革がスタートしました。

そしてこのたび「がん対策の総合戦略」を主題に、一般県民および三大学がん医療関係者、大学院生を対象に、セミナーが開催されました。

①テーマ「わが国のがん医療と対策」 講師：垣添忠生さん（国立がんセンター）

②テーマ「がんの二次予防：がん検診」 講師：廣川裕さん（広島平和クリニック学術理事）

③テーマ「がんの緩和ケア」 講師：本家好文さん（広島県立病院緩和ケアセンター）

患者向けガイドライン、ターミナルケア、在宅ケアなど最新の情報や知識を得ることができるこの県民講座は、三大学（鳥取大学、島根大学、広島大学）の「がんプロフェッショナル養成プラン」との合同事業でもあります。NPO未来は後援団体の一員としてこのセミナーを応援させていただきました。

2008年10月25日 ピンクリボンフェスタ in エソール（NPO未来共催事業）

主催：公益財団法人広島県男女共同参画財団エソール広島

場所：エソール広島（広島市中区富士見町）

エソール広島は、広島県女性総合センターの愛称で1989(平成元)年に広島県の女性の地位向上と社会参画活動の拠点施設として建設されました。

そのエソール広島が20周年を迎え、エソール広島開館20周年記念事業「エソール祭」を開催、多くの人たちで賑わ



いました。

NPO未来は、企画の段階から本事業に参画しており、広島県健康福祉センター（公益財団法人広島県地域保健医療推進機構）さんとともに「ピンクリボンフェスタ in エソール」と銘打って、乳がんの早期発見を呼びかけ、検診車でのマンモグラフィ検診や自己検診、啓発ビデオの上映など、エソールへ訪れた人たちに乳がん検診の大切さをアピールしました。



2008年6～10月 女性応援講座「女性の健康・心とからだを健やかに」全10回(NPO未来協力事業)

主催：広島市女性教育センター（現 ゆいぽーと 広島市男女共同参画推進センター）

広島市女性教育センター（現ゆいぽーと 広島市男女共同参画推進センター）主催により、全10回シリーズで「女性応援講座」が開催されました。日ごろ忙しい女性たちが心もからだもリフレッシュし、元気に前向きにがんばることをサポートするこの講座に、延べ308人が参加しました。各回のテーマと講師は下記の通りです。

- ① テーマ「メンタルケア講義 共感・傾聴・受容～心の健康づくり」
講師：川瀬啓子さん（安田女子大学教授）
- ② テーマ「メンタルケアロールプレイ 共感・傾聴・受容～心の健康づくり」
講師：川瀬啓子さん（安田女子大学教授）
- ③ テーマ「メンタルケア 女性に多い脳卒中」
講師：三原千恵さん（日比野病院 脳ドック室長）
- ④ テーマ「メタボをなくせ！ 作戦～食事と献立～」
講師：中東教江さん（済生会広島病院 栄養管理室）
- ⑤ テーマ「更年期を知り、素敵にすこやかに過ごそう！」
講師：中原恭子さん（女性クリニックラポール院長）
- ⑥ テーマ「あなたにもできるヨーガ・セラピー」
講師：水野恵美子さん（インド中央政府認定ヨーガ療法士、カウンセラー）
- ⑦ テーマ「はっはっは！ 健口講座！ ～ブラッシング指導もします」
講師：藤田裕さん（ふじた歯科 院長）、盛岡千代さん（同歯科衛生士）
- ⑧ テーマ「デイサービスここから己斐～加齢速度を遅らせる運動～きっちり教えます」
講師：高川亜紀さん（スポーツトレーナー）
- ⑨ テーマ「ホルモンバランスを整える食事～料理教室」
講師：中東教江さん（済生会広島病院 栄養管理室）
- ⑩ テーマ「乳がんについて知ろう～自己検診法をマスターしよう」
講師：稲田陽子さん（中央通り乳腺検診クリニック院長）



第1回目と2回目を担当された川瀬啓子さん（安田大学心理学科教授）は、心理学者ロジャーズの現代に続くメッセージ、人と人との関係そのものが癒すカウンセリングなどを説明され、皆さん熱心に聴講されました。2回目は、楽しくロールプレイ、臨床の場面でのバウムテストを体験したりと、より実践的な内容となっていました。



日比野病院脳ドック室長の三原千恵さんは、「女性に多い脳卒中」と題して、テンポ良く楽しい講義に、皆さん時間のたつのも忘れるほど。「元気でも とくとき受けよう 脳ドック」



済生会広島病院 栄養管理室室長の中東教江さんの講義は、毎日の食生活を考え直す良い機会となりました。カロリーや塩の摂り過ぎは不健康のもと、など具体的にわかりやすくお話いただきました。ホルモンバランスを整えるレシピで調理も実習していただき、大盛況でした。



女性クリニックラポール院長の中原恭子さんは、東洋医学の考え方を織り交ぜながら、女性特有の心とからだの不調についてお話いただきました。更年期には自分の生活スタイルや物事に対する考え方を見直す良い時期です。素敵な更年期女性になりましょう！



はっはっは！健口講座では、歯科衛生士阿川真澄さんの指導で、たのしくブラッシングを習いました。ユーモアいっぱいの阿川さんのお話により、笑い声のひびく講座でした。



あなたもできるヨーガ・セラピーでは、インド中央政府認定ヨーガ療法士でカウンセラーの水野恵美子さんにおいでいただきました。すぐに定員いっぱいとなりキャンセル待ちがでるほど。WEプラザのホールがひととき癒しの空間に変わりました。

2008年9月21日 第4回 がん患者大集合～中国ブロックプレイベント～（NPO未来後援事業） 考えよう！私の町のがん医療～中国地方の現状について～

主催：第4回がん患者大集会中国ブロックプレイベント実行委員会・中国新聞社

場所：中国新聞社・大ホール（広島市中区土橋町）

基調講演：岸本葉子さん（エッセイスト）

2008年11月に「第4回がん患者大集会」が中国新聞社・大ホールで開催され、全国9カ所の拠点病院においてTV会議システムで同時中継されました。同集会に先駆けて、9月21日にプレイベントが行われ、NPO未来は後援団体として応援しました。

当日は、エッセイストの岸本葉子さんの基調講演、患者サロン代表者の講演などがあり、集まった患者や支援者約300人はそれぞれの地域のがん医療の現状を考え、今後の展望について思いを深めることができました。